

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒101-8441

住 所 東京都千代田区神田錦町1-25

氏 名 日清ペットフード株式会社

代表取締役社長 田中 秀邦

(代理人) 鶴見工場長 池田 克之

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	日清ペットフード株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区大川町3-1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	10	飲料・たばこ・飼料製造業
主たる事業 の内容	ペットフードの製造		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	2,574	kl
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
		電話番号	
		FAX番号	
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	2019 年度 ~ 2021 年度 (報告年度 2020 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1、2、4号該当者等)

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度 (2018 年度)	第1年度 (2019 年度)	第2年度 (2020 年度)	第3年度 (年度)	目標排出量
排出量 (t-CO2)	(実) 5,646 (調) 5,552	(実) 5,609 (調) 5,518	(実) 4,826 (調) 4,733	(実) (調)	(実) 5,477 (調) 5,385
削減率		(実) 0.7 % (調) 0.6 %	(実) 14.5 % (調) 14.8 %	(実) % (調) %	(実) 3.0 % (調) 3.0 %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値 (任意記載)

原単位等の活動量	生産量				原単位等の単位	t-CO2/ t
	基準年度 (2018 年度)	第1年度 (2019 年度)	第2年度 (2020 年度)	第3年度 (年度)		目標とした値
排出量原単位等の値	0.1389	0.1422	0.1340			0.1347
活動量の値	40632	39419	35994			-
排出量原単位等の削減率		-2.4 %	3.5 %		%	3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	商品の市場ニーズに対応し、ペット小型化・高齢化に伴う小ロット多品種化があるなか、製品集約にも着手し生産効率の向上を図った。温室効果ガスの抑制としては、エアコン・高効率モーターへの更新、蒸気配管熱損失対策及びエネルギー漏れ補修（エア、蒸気、水）に取組み、結果としてCO2排出量は基準年度比0.7%削減した。
第2年度	事業譲渡に伴い、製品が集約され生産効率の向上が図れた。2021年3月で生産活動が終了することもあり、大きな設備更新は出来なかったが蒸気配管熱損失対策及びエネルギー洩れ補修（エア、蒸気）に取組みました。製品集約の効果が大きく、結果としてCO2排出量は基準年度比14.5%削減した。
第3年度	
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標) (任意記載)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>○推進体制 当事業場では、グループ内の他事業場である日清製粉(株)、日清サイロ(株)と「ISO14001」を共同で推進しており、引続き事業場内省エネ活動の啓蒙に取り組む。 (1) ISO14001 従業員教育を実施する。(地球温暖化・3R・川崎市一般廃棄物処理基本計画、法と規制) (2) 外部機関(外部専門家)を利用しエネルギー漏れ診断を受診する。 (3) 省エネタイプの設備更新。(モーター、エアコン、変圧器、LED化) (4) 電力原単位削減、ガス原単位削減を含む削減目標を掲げ、省エネ委員会・小集団活動・提案活動を活性化させ環境保全活動に取り組む。 (5) 蒸気配管の保温材取り付け、エネルギー漏れ補修。 (6) 生産ラインの効率改善による運転時間の削減。 (7) 付帯設備の定期清掃の確立。(ダクト配管、搬送コンベアーの能力低下抑制、フィルタ交換も含む)</p>
<p>第1年度</p>	<p>○推進計画 (1) 従業員にISO14001及び環境教育を実施し、省エネ活動の啓蒙に取り組んだ。 (2) 外部機関にエネルギー診断を受診し、改善計画を作成し改善に取り組んだ。 (3) 省エネタイプの設備更新: エアコン更新(2台)、モーター更新(1台) (4) 提案委員会を活性化させ、環境に関する改善を37件実施した。 (5) 蒸気配管保温材取付、スチームトラップを更新し熱効率の改善に取り組んだ。 他、エネルギー漏れ補修に取り組んだ。 (6) 製品集約を行い切替回数を減らす事で、生産ラインの効率改善に取り組んだ。 (7) 付帯設備能力低下の抑制に取り組んだ。製造設備スクリー交換(2台) 搬送コンベアー整備(2台)、乾燥設備清掃(2台)、定期フィルタ清掃</p>
<p>第2年度</p>	<p>○推進計画 (1) 従業員にISO14001及び環境教育を実施し、省エネ活動の啓蒙に取り組んだ。 (2) コロナ禍で中止。 (3) 省エネタイプの設備更新: エアコン更新(1台)、モーター更新(2台) (4) 提案委員会を活性化させ、環境に関する改善を40件実施した。 (5) エネルギー洩れ補修(17件) (6) 製品が集約され、製品切替が減り効率化が図れた。 (7) 付帯設備能力低下の抑制に取り組んだ。製造設備スクリー交換(2台) 搬送コンベアー整備(9台)、乾燥設備清掃(2台)、定期フィルタ清掃</p>
<p>第3年度</p>	

計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)	
--------------------------------	--

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	2021年3月26日 製品生産の終了に伴い、検討を中止とした。
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
太陽光発電	規模：4kW 導入場所：工場事務所	未定

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	無し
第1年度	無し
第2年度	無し
第3年度	

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 廃棄物の減量化・分別化の推進を図る(買い物時マイバックの推進) 2. 取得済みISO14001活動に一環として、環境に関する教育を実施 3. 運搬業者等に対するエコドライブ実施の協力要請 4. グリーン購入と3Rの推進を行う 5. 生ごみの3切り運動の推進 6. 自宅での省エネ(エアコン設定、電気消灯)
第1年度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 従業員に環境教育を実施。(CO2、3R、川崎市一般廃棄物処理基本計画) 事業場、ご家庭での発生抑制への協力要請を行った。 エアコン温度設定、電気消灯、ごみ分別化、3切り運動、マイバック推進 2. 運搬業者エコドライブへの取組状況確認。継続的なエコドライブの協力要請。 従業員にも協力要請を行った。 3. オフィス用品のグリーン購入。(紙類、文具類、他)
第2年度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 従業員に環境教育を実施。(CO2、3R、川崎市一般廃棄物処理基本計画) 環境省「めざせ! 1人、1日、1kgCO2削減」発生抑制をご家庭にも協力要請。 エアコン温度設定、電気消灯、ごみ分別化、3切り運動、マイバック推進。 2. 運搬業者エコドライブへの取組状況確認。継続的なエコドライブの協力要請。 従業員にも協力要請を行った。 3. オフィス用品のグリーン購入。(紙類、文具類、他)
第3年度	

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
エネルギー起源 CO ₂ 排出量	5,646 t-CO ₂	5,609 t-CO ₂	4,826 t-CO ₂	t-CO ₂
原油換算エネルギー 使用量	2,942 KL	2,948 KL	2,574 KL	KL
事業所の数	1	1	1	

(2) 事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
日清ベトフード(株) 鶴見工場	川崎市川崎区大川町3-1	5,646	5,609	4,826	

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度